

スズキ株式会社

第 147 期 中間報告書

2012年4月1日から2012年9月30日まで

日本が待ってた、エコカーです。

全グレード免税
取得税・重量税

新型 WAGON R 誕生



写真は、ワゴンR FX

 **SUZUKI**

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第147期中間報告書をお手許にお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当社グループを取り巻く経営環境は、欧州の金融不安が世界景気に悪影響を与えるなど、不透明な状況が続いています。国内においても、海外経済の減速、円高の長期化等による景気下振れが懸念される状況にあります。

このような状況下、当第2四半期の国内売上高は5,151億円と東日本大震災の影響で生産が落ち込んだ前年同期に比べ664億円(14.8%)増加しました。一方、海外売上高は円高による為替換算の影響や欧州の景気低迷などにより7,117億円と前年同期に比べ658億円(8.5%)減少しました。この結果、連結売上高全体としては1兆2,268億円と前年同期並みとなりました。

連結利益の面では、営業利益は為替影響や海外での売上減少などによる減益要因を、国内四輪車の販売増加や原価低減などによる増益要因で吸収し、661億円と前年同期に比べ14億円(2.2%)の増加、経常利益は700億円と前年同期に比べ24億円(3.6%)の増加、四半期純利益は419億円と前年同期に比べ99億円(30.9%)の増加となりました。

なお、当中間期の配当金につきましては、当第2四半期の連結業績が予想値から改善したことを踏まえ、1株につき直近の配当予想より1円増配し、8円(前年中間配当7円)とさせていただきます。

当社グループを取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が続きますが、当社グループ一丸となってあらゆる分野での改革に取り組み、業績の向上を目指し事業活動を展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2012年11月



代表取締役会長兼社長

鈴木 修

(後列左から)

代表取締役副社長

代表取締役副社長

代表取締役副社長

代表取締役副社長

原山 保人

本田 治

田村 実

鈴木 俊宏

株 式 (2012年9月30日現在)

- 株式の総数
発行可能株式総数 1,500,000,000株
発行済株式の総数 561,047,304株
- 単元株式数 100株
- 株 主 数 48,172名
- 大 株 主

株 主 名	持 株 数 (千株)	持株比率 (%)
フォルクスワーゲン アーゲー	111,610	19.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	24,156	4.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	22,827	4.1
東京海上日動火災保険株式会社	19,276	3.4
株式会社三菱東京UFJ銀行	16,000	2.9
株式会社静岡銀行	14,500	2.6
株式会社りそな銀行	13,000	2.3
株式会社損害保険ジャパン	9,500	1.7
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	8,764	1.6
ジェーピーモルガンチェースバンク 380055	7,475	1.3

- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示してあります。
2. 当社は、自己株式 19,031株を保有しております。
3. 持株比率は、当社保有の自己株式を除いて算出しております。

●株主優待制度について

当社では、株主様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社製品の一層のご愛用を願ひまして、2012年3月31日現在で1単元(100株)以上を保有の株主様を対象に、株主優待を以下のとおり実施いたしました。

<優待内容>

当社の欧州生産拠点マジャール スズキ社の所在国ハンガリーの産品である「ハンガリーアカシアはちみつ」と、天然のミネラルを豊富にバランスよく含んだドイツ原産の「岩塩」の詰め合わせ



(※) 株主優待品につきましては、2012年3月31日現在のご登録ご住所あてに5月中旬～6月末頃にかけて発送いたしました。ご住所変更や長期ご不在などの理由による優待品不達の場合は再発送手続きは、2013年4月末日をもって終了させていただきますのでご了承願います。

会社の概要 (2012年9月30日現在)

- 社 名 スズキ株式会社
- 英文社名 SUZUKI MOTOR CORPORATION
- 本 社 静岡県浜松市南区高塚町300番地
- 設 立 1920年3月
- 資 本 金 138,014,762,161円
- 決 算 期 3月31日
- 従 業 員 数 連結 55,574名
(就業人員数) 単 独 14,685名

●役員氏名

※取締役会長兼社長	鈴木 修	常勤監査役	神村 保	常務役員	濱田 茂明	常務役員	袴田 和夫
※取締役副社長	田村 実	常勤監査役	中村 邦夫	常務役員	伊延 禎之	常務役員	松浦 浩明
※取締役副社長	本田 治	監 査 役	石塚 伸	常務役員	彌吉 正文	常務役員	古庄 誠一
※取締役副社長	鈴木 俊宏	監 査 役	大須賀正孝	常務役員	青山市 三	常務役員	大橋 恒雄
※取締役副社長	原山 保人	監 査 役	田中 範雄	常務役員	蓮池 利昭	常務役員	鮎川 堅一
取締役専務役員	中西 眞三			常務役員	内田 博康	常務役員	近藤 唯志
取締役専務役員	杉本 豊和			常務役員	岩月 隆始	常務役員	村上 元男
取締役専務役員	渥美 正紀			常務役員	佐藤 薫	常務役員	笠井 公人
取締役専務役員	相澤 直樹						
取締役専務役員	望月 英二						
取 締 役	井口 雅一						
取 締 役	谷野 作太郎						

- (注) 1. ※印は、代表取締役であります。
2. 取締役のうち、井口雅一及び谷野作太郎の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
3. 監査役のうち、石塚 伸、大須賀正孝及び田中範雄の三氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
4. 取締役のうち、井口雅一及び谷野作太郎の両氏、並びに、監査役のうち、石塚 伸、大須賀正孝及び田中範雄の三氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨て)

科目	当第2四半期連結会計期間 (2012年9月30日現在)	前連結会計年度 (2012年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	1,462,346	1,509,568
現金及び預金	275,145	291,670
受取手形及び売掛金	213,370	254,066
有価証券	556,817	542,668
商品及び製品	168,543	169,303
仕掛品	22,816	20,574
原材料及び貯蔵品	56,767	49,803
その他	174,214	187,093
貸倒引当金	△ 5,329	△ 5,611
固定資産	799,971	792,870
有形固定資産	529,930	506,862
無形固定資産	2,794	6,592
投資その他の資産	267,246	279,416
投資有価証券	151,422	166,921
その他	116,591	113,304
貸倒引当金	△ 761	△ 779
投資損失引当金	△ 6	△ 30
資産合計	2,262,317	2,302,439
負債の部		
流動負債	991,355	1,037,028
買掛金	328,772	354,899
短期借入金	211,264	222,432
1年内償還予定の新株予約権付社債	149,975	149,975
未払法人税等	25,930	21,170
製品保証引当金	52,615	60,869
その他	222,797	227,681
固定負債	157,120	153,653
長期借入金	72,123	67,359
退職給付引当金	36,863	36,647
災害対策引当金	18,065	18,065
その他の引当金	7,352	7,693
その他	22,717	23,888
負債合計	1,148,476	1,190,681
純資産の部		
株主資本	1,154,007	1,116,594
資本金	138,014	138,014
資本剰余金	144,364	144,364
利益剰余金	871,709	834,296
自己株式	△ 81	△ 81
その他の包括利益累計額	△ 154,417	△ 128,845
その他有価証券評価差額金	23,541	29,865
繰延ヘッジ損益	760	△ 1,119
為替換算調整勘定	△ 178,718	△ 157,591
新株予約権	28	-
少数株主持分	114,222	124,009
純資産合計	1,113,841	1,111,757
負債純資産合計	2,262,317	2,302,439

連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科目	当第2四半期連結累計期間 (2012年4月1日から 2012年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (2011年4月1日から 2011年9月30日まで)
売上高	1,226,825	1,226,169
売上原価	917,268	928,907
売上総利益	309,557	297,261
販売費及び一般管理費	243,414	232,529
営業利益	66,142	64,731
営業外収益	13,009	13,713
受取利息	3,992	5,022
受取配当金	2,450	2,194
持分法による投資利益	251	485
その他	6,314	6,010
営業外費用	9,149	10,889
支払利息	2,705	2,297
有価証券評価損	3,502	4,883
その他	2,941	3,707
経常利益	70,002	67,555
特別利益	410	8,955
固定資産売却益	410	649
投資有価証券売却益	-	8,306
特別損失	257	17,859
固定資産売却損	257	327
災害対策引当金繰入額	-	17,532
税金等調整前四半期純利益	70,155	58,651
法人税等	25,504	20,543
少数株主損益調整前四半期純利益	44,650	38,108
少数株主利益	2,748	6,098
四半期純利益	41,901	32,009

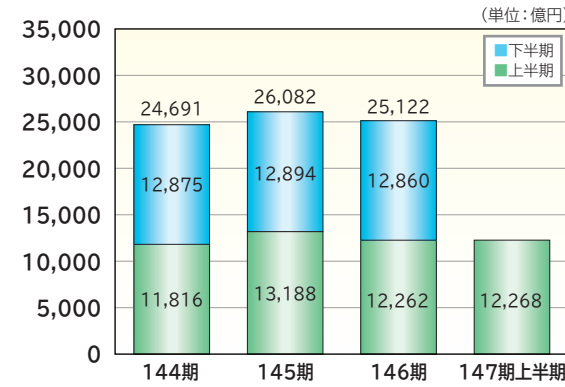
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨て)

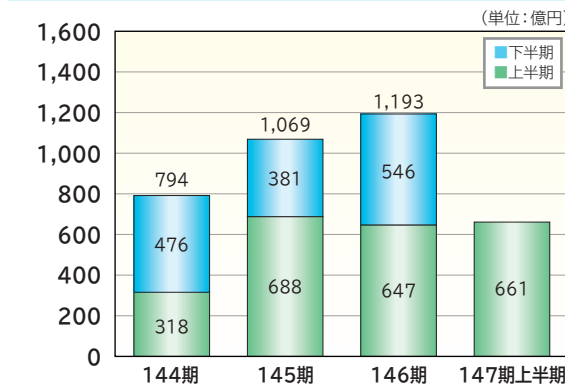
科目	当第2四半期連結累計期間 (2012年4月1日から 2012年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (2011年4月1日から 2011年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	84,987	131,445
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 65,898	2,342
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,919	△ 49,715
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4,009	△ 5,111
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,160	78,961
現金及び現金同等物の期首残高	710,530	631,923
現金及び現金同等物の四半期末残高	716,690	710,884

連結業績の推移

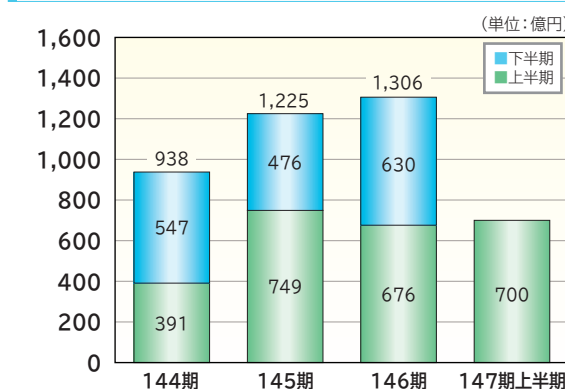
連結売上高の推移



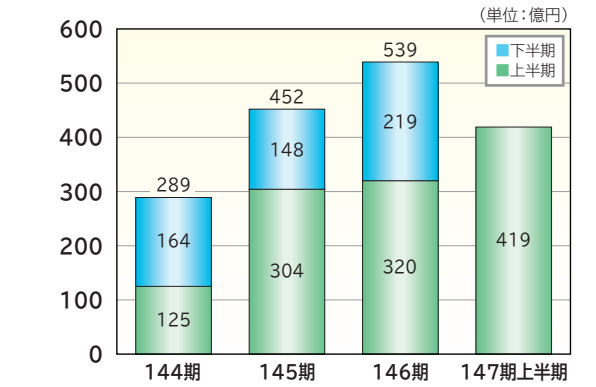
連結営業利益の推移



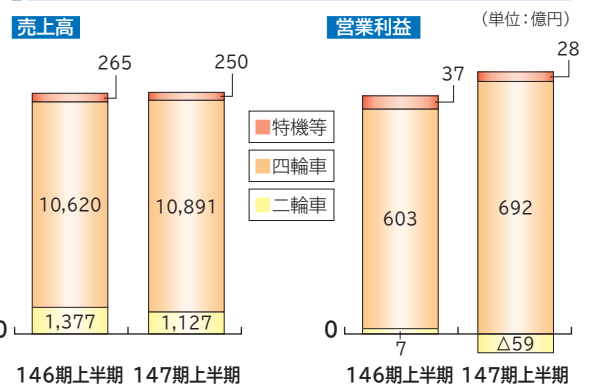
連結経常利益の推移



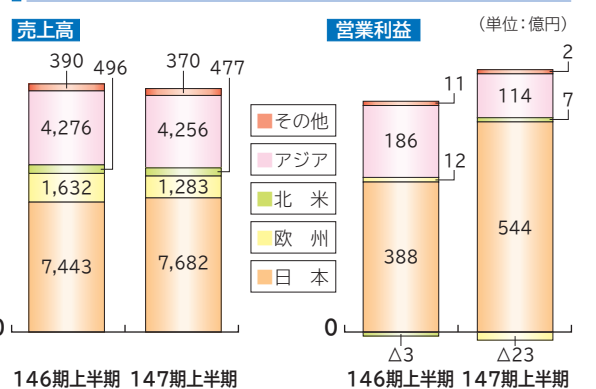
連結当期純利益の推移



事業別の業績



所在地別の業績



SUZUKI GREEN Technology

環境に配慮しながら、さらに便利で楽しいクルマをめざす、スズキの新技术の総称「スズキグリーン テクノロジー」

スズキがものづくりのために開発・投入する環境技術、低燃費化技術、軽量化技術などの新技术の総称を「スズキグリーン テクノロジー」と決めました。

9月に発売した新型「ワゴンR」、「ワゴンRスティングレー」より採用し、今後開発する商品にも展開する計画です。



低燃費化技術

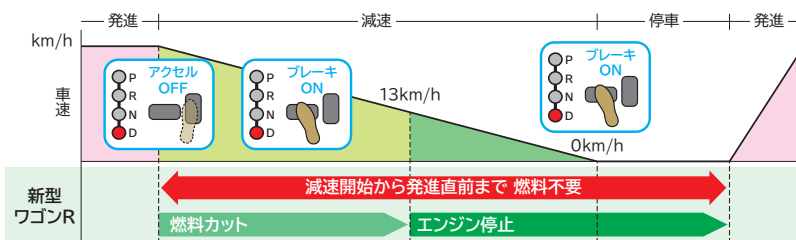
ENE-CHARGE

発電に使うガソリンを減らし、減速エネルギーを利用して発電するスズキ独自の減速エネルギー回生機構です。低燃費と軽やかな加速を実現しました。



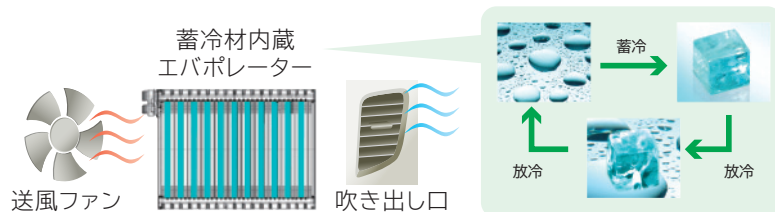
IDLING STOP

アクセルを離してから停車するまで燃料をカットし、さらに13km/h以下でエンジンを停止させて、燃料消費を抑えます。



eco-COOL

エアコンのコンプレッサーが送風状態の時、蓄冷材を通した冷風を室内に送ります。室内の快適性を保ちながら、エンジンの再始動時間を延ばすことで、アイドリングストップ効果を高めます。



*イメージ図

軽量化技術

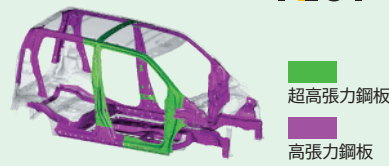
新型ワゴンRは、軽量化を徹底し軽ワゴン最軽量*1の車両重量780kgを実現。さらにパワートレインや足まわりは、軽量化とともに抵抗低減を追求しました。細部にわたる見直しと工夫、軽量化を日々進めています。

*1 軽ワゴン=全高1,550mm以上の軽自動車。2012年9月現在、スズキ調べ

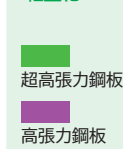
軽量化技術

高張力鋼板の効果的な採用をはじめ、構造、材質の見直しを行い、軽量化と高い安全性能を実現しました。

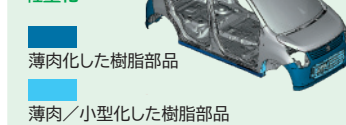
軽衝撃吸収ボディ[TECT] TECT



シートフレームの軽量化



樹脂部品の構造見直し・軽量化



抵抗低減技術

パワートレインの低フリクション化を徹底。シャシーも走行抵抗低減、部品の構造の見直しをはじめ、様々な軽量化に取り組み、燃費向上と軽快な走りに磨きをかけました。

低燃費、低騒音、軽量化を高いレベルで実現したR06A型エンジン



走行抵抗を低減し、乗り心地と軽量化を両立した足回り



5月 新型船外機DF250APを発表

低燃費を実現したリーンバーン（希薄燃焼）システム、プロペラの正/逆回転を統合した「スズキ・セレクトティブ・ローテーション」の採用で高い評価をいただき、業務、レジャーなど幅広い用途でご利用いただいています。



7月 新型ロードスポーツバイクGSR250

精悍で存在感のあるスタイリングと、扱いやすい新開発の248cm³エンジンを採用。バイクに初めてお乗りになるお客様でも扱いやすい二輪車として、乗りやすさとお求めやすい価格にこだわりました。



9月 軽自動車累計販売2,000万台を達成

スズキは、1955年10月「スズライト」の発売以来、軽四輪車と共に発展し、2012年9月12日に自動車メーカーとして初めて*軽四輪車国内累計販売台数2,000万台を達成しました。

*スズキ社内調べ



株主メモ

定時株主総会	6月中	株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告します。	同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告によります。 但し、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、東京都において発行される日本経済新聞に掲載して行います。 http://www.suzuki.co.jp/ir/index.html	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行事務センター 0120-782-031 (フリーダイヤル)
証券コード	7269	同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

株式に関する各種お手続きについて

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について	未払配当金の支払いについて
<p>①証券会社をご利用の株主様 お取引の証券会社にお申出ください。</p> <p>②証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。</p>	<p>株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。</p>



写真は、GSR250